

福井県衛生環境研究センター研究員活動報告 概要

発表演題名	福井県内の下水流入水から分離された <i>Salmonella</i> Typhimurium DT104 関連株の分子疫学的解析
学会名	平成 19 年度日本獣医公衆衛生学会
発表者名	山崎 史子 （保健衛生部）
開催場所	高松市 サンポート高松
開催日時	平成 20 年 2 月 11 日（月）
発表内容	当センターでは、食中毒の主要な要因である <i>Salmonella</i>（サルモネラ）、特に <i>Salmonella</i> Typhimurium（S.T）や色々な種類の抗菌剤に耐性を獲得した S.T DT104 について、環境中の動向を把握する目的で、下水流入水の監視を行っている。 2002 年 1 月から 2007 年 3 月に、県内の下水流入水から <i>Salmonella</i> Typhimurium が 87 株分離でき、DT104 関連株が 10 株（11.5%）確認された。このうち 8 株と県外のヒト由来 DT104 の 3 株についてパルスフィールドゲル電気泳動による比較を行ったところ、下水由来 4 株とヒト由来 2 株のパターンが一致した。 このことから、県内での不顕性感染者の存在や環境中での汚染が示唆された。